

整理番号
76

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	民生委員活動支援事業				担当課	社会福祉課
業務名	-				担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉			事業区分	直営
主な取組	1	安心の地域づくり			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	1	1	民生委員活動支援事業	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
民生委員法に基づき厚生大臣より委嘱された民生委員・児童委員の活動を支援します。

対象【PLAN】	民生児童委員	意図【PLAN】	民生児童委員の知識向上と地域における福祉活動を推進する。
-----------------	--------	-----------------	------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
民生児童委員の知識向上のため、先進地の視察研修を行う。
地域における福祉活動の推進のため、活動費の支援を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	28	14	28	42		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	15,613	15,521	15,548	15,629		
	事業費合計	千円	15,641	15,535	15,576	15,671		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
民生児童委員充足率	%	実績値が目標値以下となること	目標値	-	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	-	100.0			
			達成率	-	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	高齢者等の見守りや支援が必要な人への支援先へつなぐ活動などを行う民生児童委員活動は、市民ニーズ、社会的需要が高く、事務事業の優先度も高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	民生児童委員の活動を支援することで、活動しやすい環境を整え支援の充実が図られることから、市民満足度も社会貢献度も高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	費用は、民生児童委員活動に対する謝礼や民生児童委員協議会への補助等のため、削減は難しい。民生児童委員の負担増加により、規模の縮小も見込めないと考える。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	民生児童委員の負担増加により、なりて不足が大きな課題となっている。
--------	----	-------------------------	-----------------------------------

整理番号
77

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	生活困窮者自立支援事業			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉		事業区分	一部委託
主な取組	1	安心の地域づくり		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	社会福祉諸費	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
生活困窮者等の自立の促進を図るため、相談支援等を実施します。

対象【PLAN】	生活困窮に陥っている市民	意図【PLAN】	生活困窮者が困窮状態を脱し、自立すること。
-----------------	--------------	-----------------	-----------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
生活困窮者に対し、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業など状況に応じた継続的な支援を行い、自立に向けた生活の基盤を整える。離職等により住居の確保が困難な世帯には、家賃補助を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	24,584	7,643	6,226	9,524		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	7,768	12,002	4,297	3,639		
	事業費合計	千円	32,352	19,645	10,523	13,163		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
生活困窮者等の自立に向けた相談件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	56	66	76	86	96
			実績値	42	250			
			達成率	75.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	物価高騰により生活困窮に陥っている方が増加しており、社会的需要及び事務事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	相談者の収支の見直しや就労支援、住居の家賃補助などの支援により、自立の促進が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	自立相談支援事業を伊達市社会福祉協議会へ委託することにより、相談者が一体的に相談・支援ができる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	相談件数は増加しているものの、家計改善のためのプラン作成まで至らないケースや就労につながらないケースが多い。自立に向けた継続した支援ができる体制の見直しが必要である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
79

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域福祉総務事務				担当課	社会福祉課
業務名	-				担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉			事業区分	補助
主な取組	1	安心の地域づくり			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	1	1	地域福祉諸費	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
人権擁護委員、保護司、戦傷病者・戦没者等の遺族に対する活動を支援します。

対象【PLAN】	①人権擁護委員 ②保護司 ③戦傷病者・戦没者遺族	意図【PLAN】	人権擁護委員や保護司の活動が充実し、必要な支援を行うことができる。 遺族会の活動が充実する。
-----------------	--------------------------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
円滑な協議会運営や活動の充実を図るため、人権擁護委員協議会伊達市部会及び保護司伊達市部会へ交付金を交付する。
戦傷病者・戦没者遺族の活動を支援するため、旧町単位にある遺族会へ補助金を交付する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	228	179	191	334		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	41		
	一般財源	千円	1,210	4,179	1,570	44,639		
	事業費合計	千円	1,438	4,358	1,761	45,014		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
啓発活動の実施回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	-	7	7	7	7
			実績値	-	9			
			達成率	-	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	人権擁護委員や保護司の活動は、市民に直結しており、市民ニーズ、社会的需要及び事業の優先度も高い。 戦没者遺族の高齢化や死亡により市民ニーズや社会的需要はやや低い、継続支援の必要性から事業の優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	「社会を明るくする運動」による再犯防止運動や「人権の花運動」等による人権啓発活動による社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	人権擁護委員や保護司は国から委嘱されており、市と協力して事業を実施しているため規模の縮小は難しい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市内実施のイベントから20歳の集いに啓発活動を変更し、対象者を若年層に絞ったことで、より効率的に啓発できた。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
80

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域自治組織推進事業（再掲）				担当課	協働まちづくり課		
業務名	地域支え合い活動業務				担当係	地域振興係		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	5	地域福祉			事業区分	直営		
主な取組	2	協働の地域づくり			—	—		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	2	1	12	地域振興事業費			

目的と方針【PLAN】	地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。							
事業概要【PLAN】	地域の実情に応じて主体的に住民同士の支え合い活動を実施する地域自治組織に対し、特定事業交付金を交付し支援します。							
対象【PLAN】	地域自治組織			意図【PLAN】	地域自治組織が、地域内の高齢者のちょっとした困りごとを支援し、高齢者が住みやすい地域と感じる。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	地域自治組織が、高齢者が日常生活において困っていることを把握し、利用したい人、協力したい人を募集して支え合う体制を構築する。							

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	64,374	63,853	63,732	63,700		
事業費合計		千円	64,374	63,853	63,732	63,700		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域支え合い活動に取り組む地域自治組織数	地域自治組織	実績値が目標値以上となること	目標値	9	10	10	11	12
			実績値	8	8			
			達成率	88.9%	80.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	今後、高齢化や高齢世帯の増加がますます進行し、高齢者の日ごろのちょっとした困りごとを支援する必要があると考えられることから、市民ニーズ、社会的需要及び事業の優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	高齢者の困りごとを支援することで利用者の満足度は上がり、社会貢献度は高いと考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	地域自治組織への周知については、新年度の地域自治組織活動交付金の内示と合わせて行っており、周知に対する時間や費用など事務負担の抑制につながっている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	地域支え合い活動は、利用したい人と協力したい人とのマッチングが難しく、利用者が伸び悩んでいるという課題がある。また、実施するうえでの負担があることから取り組む自治組織が伸び悩んでいることも課題である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
81

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域福祉活動支援事業			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉		事業区分	補助
主な取組	2	協働の地域づくり		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	社会福祉団体助成事業費	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
地域住民主体の団体が実践する地域福祉活動事業に対し、支援を行います。

対象【PLAN】	①市民 ②地域福祉団体	意図【PLAN】	市民が福祉活動への参加や支援等により、地域コミュニティの形成が図られる。
-----------------	----------------	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
福祉活動に参加する市民の参加者

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,560	1,620	1,560	1,620		
	事業費合計	千円	1,560	1,620	1,560	1,620		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域福祉団体等の数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	27	28	29	30	30
			実績値	27	26			
			達成率	100.0%	92.9%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	住民参加の地域福祉活動を支援するため、市民ニーズ、社会的需要が高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	住民主体の福祉活動の推進を目的として、地域において組織する福祉活動団体が行う活動経費の一部を助成するため、市民満足度及び社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域での福祉活動の充実を図るため、費用の削減は難しい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	誰もが住み慣れた地域で安心して生活できる地域づくりを推進していくため、継続して事業を実施する必要がある。しかし、地域福祉団体加入者の高齢化により、活動の休止や縮小となっている団体もある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
82

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	社会福祉協議会支援事業			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉		事業区分	補助
主な取組	2	協働の地域づくり		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	社会福祉団体助成事業費	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
ボランティア活動を実施している団体等に対し、社会福祉協議会を通じて活動を支援します。

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民が積極的に地域活動等に参加する。
-----------------	----	-----------------	--------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
社会福祉協議会においてボランティアセンターの設置及びボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアへの関心を高め活動へ繋ぐ支援を行う。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	38,230	38,230	38,230	38,230		
事業費合計		千円	38,230	38,230	38,230	38,230		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
ボランティア団体の数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	35	35	35	35	35
			実績値	37	34			
			達成率	100.0%	97.1%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	子ども食堂を運営するボランティア団体の増加など、市民ニーズ、社会的需要及び事務事業優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	地域や学校における福祉共育の推進により、社会満足度及び社会貢献度は高く、事業効果も期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	地域福祉活動計画の目標である地域で支えあい安心して暮らしていくまちづくりの推進を図るため、費用の削減は難しい。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	新規ボランティア団体がある一方で、会員の高齢化により活動を縮小している団体もあることから、ボランティア団体の実態把握やニーズ調査などを社会福祉協議会と協議し進めていく必要がある。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
83

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	避難行動要支援者対策事業（再掲）			担当課	社会福祉課
業務名	避難行動要支援者登録及び個別避難計画の作成業務			担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉		事業区分	直営
主な取組	2	協働の地域づくり		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	社会福祉諸費	

目的と方針【PLAN】	地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。		
事業概要【PLAN】	災害時に円滑で迅速な避難誘導のため、関係機関と共有する避難行動要支援者名簿の充実と、個別避難計画の作成を推進します。		
対象【PLAN】	避難行動要支援者	意図【PLAN】	大規模災害時に要支援者に対し、迅速な所在確認や安否確認、避難誘導など適切な支援を行うことにより、被害を最小限に抑える。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	要支援者名簿への提供同意、個別避難計画の作成		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	1,570	1,550	1,704	2,082		
事業費合計		千円	1,570	1,550	1,704	2,082		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
個別避難計画作成者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,800	2,200	2,500	2,800	3,000
			実績値	1,894	3,021			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	災害時の迅速な安否確認や避難誘導等や平常における見守り等の活用のため、市民ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	個別避難計画作成者数の増加により、災害時に迅速な安否確認や避難誘導など適切な支援が期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	避難行動要支援者個別避難計画書の様式を見直し、作成の負担軽減を図り、作成率の向上に努めた。提供する名簿の一部を個票形式から一覧表形式に変更し、経費削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	対象者への制度勧奨と合わせ、避難支援者となる世代へ制度の理解促進のため出前講座等による周知活動を行った。モデル地区を選定し、名簿を活用した取り組みを実施した。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
84

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域福祉計画推進事業				担当課	社会福祉課
業務名	-				担当係	地域福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	5	地域福祉			事業区分	直営
主な取組	2	協働の地域づくり			-	-
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	1	1	地域福祉諸費	

目的と方針【PLAN】
地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現に向け、市民や地域福祉団体などの多様な主体の参画による地域福祉体制の強化を進めます。

事業概要【PLAN】
第4期伊達市地域福祉計画の進行管理及び推進を図ります。

対象【PLAN】	市民 地域福祉計画	意図【PLAN】	誰もが住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができる。地域の中で顔の見れる関係性を築き、お互いに支えあいながら安心して暮らすことができる。
-----------------	--------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
地域福祉計画及び計画に掲げられている事業等が、G-PDCAサイクルに基づく効果検証等から適正に進行管理されており、地域福祉活動の最適化が図られている。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	0	0	0	0		
	事業費合計	千円	0	0	0	0		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地域福祉計画策定委員会の開催	回	実績値が目標値以上となること	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	社会福祉法第107条の規定に基づき市の地域福祉の理念や方向性を定める行政計画であり、計画に掲げる施策の行政評価システムによる評価を行い、的確な進行管理を図ることから、社会的需要及び事務事業の優先度は比較的高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	地域福祉体制の強化を図るため、各施策の進行状況の確認は有効であると考えている。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	各施策の進行状況の確認にかかる時間の削減の検討が必要と考えている。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	行政評価システムによる事業評価を行い計画の的確な進行管理を図る。令和8年度からの委員会開催にむけ、準備を進めていく。
--------	----	-------------------------	--